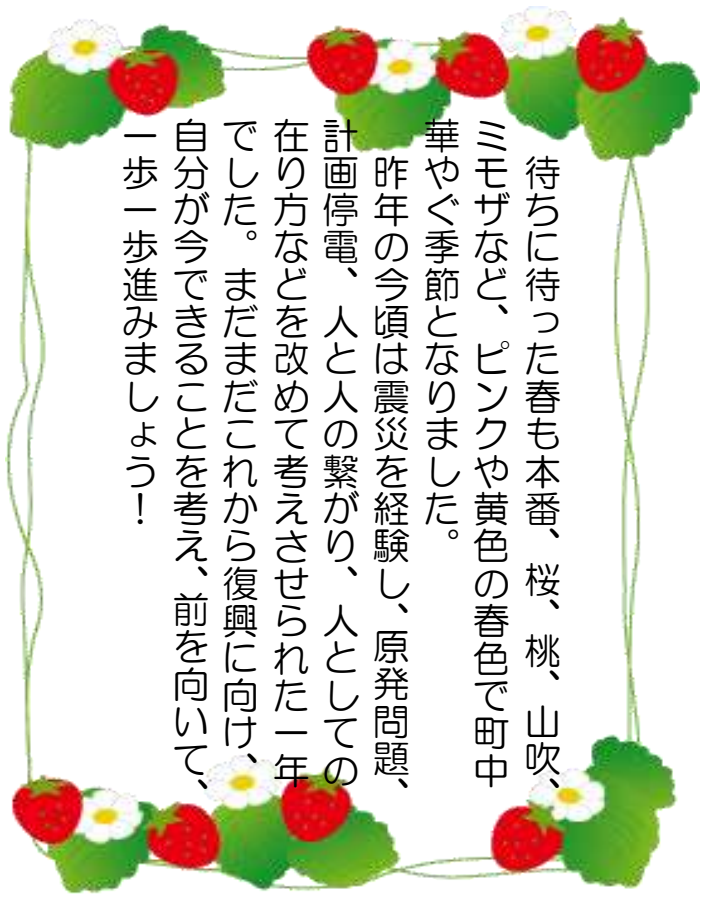


そよかぜだより

2012 4月号

そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.com>



待ちに待った春も本番、桜、桃、山吹、ミモザなど、ピンクや黄色の春色で町中華やぐ季節となりました。
 昨年の今頃は震災を経験し、原発問題、計画停電、人と人の繋がり、人としての在り方などを改めて考えさせられた一年でした。まだまだこれから復興に向けて、自分が今できることを考え、前を向いて、一歩一歩進みましょう！

ラバーダム防湿

薄いラバーダムに穴を開けて、金具で歯をはさんで使用します。

唾液には菌がたくさんいます。治療する歯以外をラバーダムで覆うことで、根を治療する時に、唾液の多い方などは、根の中に唾液と一緒に菌が入ってしまうのを防ぎます。

他にも器具を間違えて飲み込んでしまったり、薬液や器具で粘膜を傷つけないようにするものです。



●口腔内ケアアイテム

お口のお掃除には歯フロス、デンタルフロス、歯間ブラシなどが代表的なアイテムとなりますが、今月はデンタルフロスの必要性についてお知らせします。
 デンタルフロスは歯ブラシでは入らない、狭い歯間を清掃できる糸状の用具となります。
 フラック（歯垢）を放っておくと虫歯や歯周病になる原因となります。
 日本ではフロスの使用率が低く、特に乳歯列期、混合歯列期などに使用して欲しい時期も使用している方は少ないのが現実です。
 原因として、「使いづらい」「面倒で使わない」が大きい理由のようです。
 以前に、新しいフロスとしてお知らせいたしました歯間ブラシ感覚で使用出来るフロッサーは臼歯部にも届きやすく、お子さんの仕上げ磨きとしても確認しやすいと思います。

いつも清潔&エコな交換できるヘッド



奥歯まで届くロングヘッド



コンタクトに合わせて選べる2種類のフロス



いつも同じところで引っかかる場合などは、虫歯などの原因の可能性もあり、出血する時などは歯肉炎を起こしているかも！
 そんな時は私達に気軽に相談してください！

毎日のブラッシングとあわせてセルフチェック！



ヘッドが360度回転し、30度ごとに角度をかえられるので簡単に使えます。



フロッサーの使い方



院長から

歯の清掃は歯ブラシだけでは充分には行なえません。歯と歯の隙間に大ききによって補助的使う器具は異なります。今回挙げた、フロッサーはデンタルフロスの進化形と見なしております。
 これにより歯と歯の間に挟まった汚れを以前より容易に除去しやすくなりました。正しい、磨き方をマスターすれば、歯磨きがより楽しくなり、効果的にこなせると思います。楽しんで健康への取り組みをしましょう。

患者様から頂いたお花です。

